

武蔵野市子どもの権利に関する条例骨子案 検討項目一覧

(令和4年3月9日時点)

A 前文

- A-1 多様性の時代を迎えた現代の子どもの権利
- A-2 権利の保障方法
- A-3 Child Friendly Cityの実現
- A-4 条例制定のプロセス
- A-5 前文への子どもの声・言葉の反映

B 総則

- B-1 目的規定について
- B-2 条例上の用語の定義について

C 誰が保障するのか（保障主体と役割・責務）

- C-1 市の役割・責務（公民連携等を含む）
- C-2 市民の役割
- C-3 家庭、親、法定保護者の役割
- C-4 育ち学ぶ施設（学校ほか、子ども支援・ケア施設等）の役割
- C-5 事業者の役割

D 保障すべき子どもの権利（その理念・目的・考え方）

- D-1 子どもにとって大切な子どもの権利とは
- D-2 子どもの権利の広報・普及、研修・学習
- D-3 子どもへの子どもの権利広報・学習

E 子どもの権利保障の仕組みを創る（制度・条件整備・行財政等）

- E-1 子どもの居場所
- E-2 子どもの相談
- E-3 子どもの意見表明・参加の権利
- E-4 学校外の多様な学びの保障
- E-5 個別のニーズを持つ子どもへの支援
- E-6 おとなへの移行支援（子ども・若者の自立支援）
- E-7 子どもを支える人びとの支援

F 子どもが安心、安全に生活していくために

- F-1 子どもの事故の防止、事後対応
- F-2 子どもの尊厳を傷つける暴力の防止
- F-3 虐待の防止
- F-4 いじめの防止
- F-5 子どもの権利侵害の相談・救済の仕組み—第三者的相談救済機関の創設

G 子どもの権利を保障する市の施策づくりとその水準維持・発展

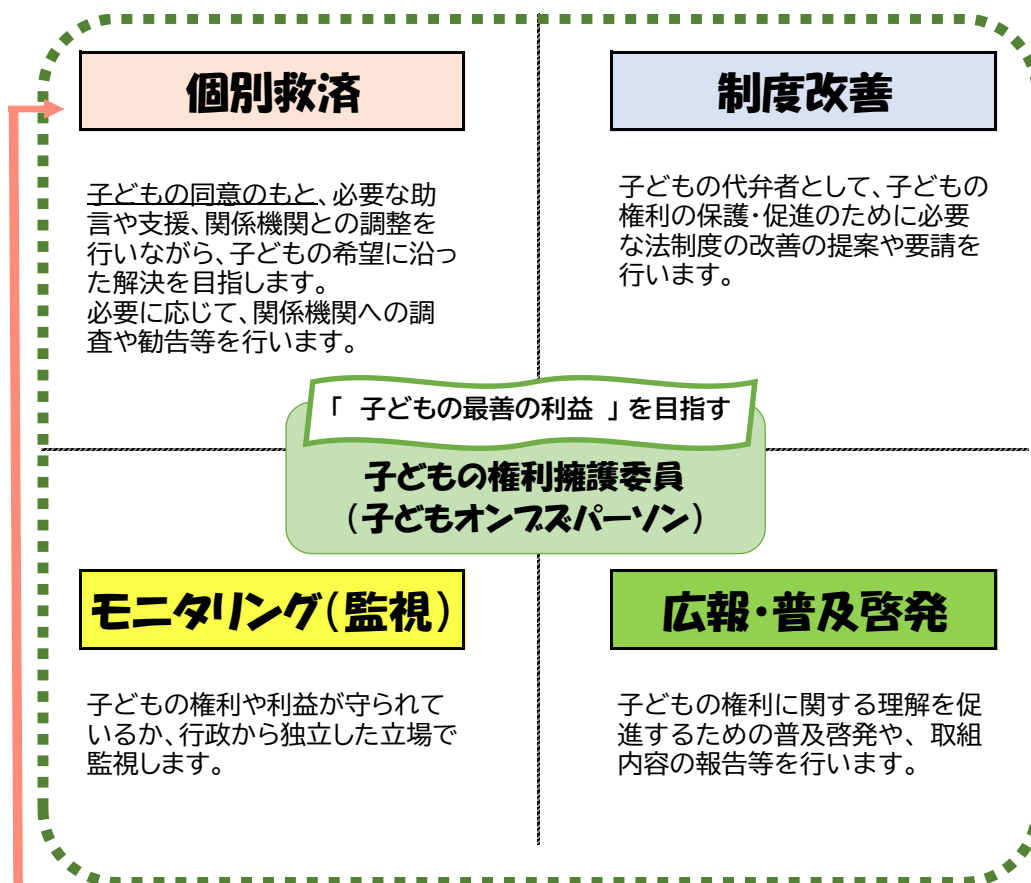
G-1 子ども計画の策定方法

G-2 子ども計画の推進方法

G-3 子ども計画実施結果の評価・検証方法

H 雑則

(参考) 第三者的相談救済機関の概要 (現時点のイメージ) ※F-5 関連



個別救済 とは ～解決までのイメージ～

